

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会 2018 年度事業報告書

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会は、口腔顔面痛学に関する研究の進展及びその臨床応用についての研究発表、知識の交換、会員の生涯学習の援助並びに会員相互及び内外の関連学会との連携協力を行うことにより口腔顔面痛学の進歩普及を図り、我が国の学術の発展に寄与すると共に国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする。(定款第 3 条)

これらの遂行のために、2018 年度 (2018/9/1~2019/8/31) には以下の事業を実施した。

1. 学術大会の開催

2018 年度中には学術大会は開催されなかった。

2019 年度初めに第 24 回日本口腔顔面痛学会を村岡渡会長のもとに行う。会期は 2019 年 9 月 28 日~29 日を予定している。

2. セミナーの開催 (セミナー企画運営委員会 村岡理事)

以下 9 件のセミナーを開催した。

1) Headache Academy for dentists

会期：2018 年 11 月 17 日 (土) 会場：神戸市中央区 (神戸国際会議場)

第 46 回日本頭痛学会総会との共催

参加者：51 名

2) 口腔顔面痛エキスパートセミナー

会期：2018 年 12 月 9 日 (日) 会場：東京都新宿区 (慶應義塾大学病院新教育研究棟)

参加者：15 名

3) 口腔顔面痛精神医学セミナー

会期：2019 年 1 月 13 日 (日) 会場：東京都新宿区 (慶應義塾大学信濃町第 2 校舎)

参加者：47 名

4) 口腔顔面痛診断実習セミナー

会期：2019 年 1 月 14 日 (月) 会場：東京都新宿区 (慶應義塾大学信濃町第 2 校舎)

参加者：35 名

5) 神経障害性疼痛関連歯科学会合同シンポジウム

会期：2019 年 3 月 10 日 (日) 会場：東京都新宿区 (慶應義塾大学病院 2 号館)

日本口腔外科学会、日本歯科麻酔学会、日本歯科薬物療法学会と共催

参加者：45 名

6) 口腔顔面痛ベーシックセミナー

会期：2019 年 5 月 26 日 (日) 会場：東京都千代田区 (日本大学歯学部 3 号館)

参加者：64 名

7) 口腔顔面痛診断実習セミナー

会期：2019年6月23日（日） 会場：東京都新宿区（慶應義塾大学病院2号館）

参加者：20名

8) 口腔顔面痛脳学習キャンプ in 信州

会期：2019年8月17日（土）～18日（日） 会場：長野県塩尻市（松本歯科大学）

参加者：17名

9) 口腔顔面痛入門セミナー

会期：2019年8月18日（日） 会場：北海道札幌市（北海道大学学術交流会館）

参加者：83名

3. 学会誌などの発行（学会誌編集委員会 金銅理事）

発刊が遅れていた第10巻を、2019年4月に発刊した。第11巻は2019年9月中の発刊を予定し、第12巻は2019年内の発刊を予定している。論文の投稿は随時受け付ける。

4. 口腔顔面痛専門医、指導医、認定医の認定（専門医等認定委員会 佐久間理事）

口腔顔面痛専門医、指導医、認定医試験および専門医筆記試験を2019年8月4日（日）に東京都新宿区（慶應義塾大学信濃町キャンパス）において実施した。

今年度は、指導医1名、専門医2名、専門医筆記試験4名、認定医10名を合格とした。

5. 研究の奨励および表彰

1) 研究の奨励

口腔顔面痛関連研究の推進と奨励を行った

2) 表彰

優秀ポスター賞（ポスター賞推薦委員会 小見山理事）

2018年度中の学術大会の開催がなかったため、選考および表彰は行わなかった。

6. 国内交流事業（渉外委員会 牛田理事）

1) ペインコンソーシアムの構成学会として、第41回日本疼痛学会の会期中に開催された「日本痛み関連学会連合」キックオフミーティングに参加し、他の構成学会と連携した。

2) 日本痛み関連学会連合設立に向け、同連合の運営規約案の検討を行った。

7. 国際交流事業（国際交流委員会 小見山理事）

1) 国際疼痛学会（International Association for the study of Pain: IASP）および Special Interest Group of Orofacial Pain (SIG of OFP)との交流を行った。

2) アメリカ口腔顔面痛学会（American Academy of Orofacial Pain: AAOP）との交流を行った。

3) アジア頭蓋下顎機能障害学会（Asian Academy of Craniomandibular Disorders: AACMD）との交流を行った。

2018年10月13日、14日に台北で開催された学術大会へ参加した。

4) 国際歯科研究学会（International Association for Dental Research）の神経科学グループ

(Neuroscience Group) および International Network for Orofacial Pain and Related Disorders Methodology (INfORM)との交流を行った。

8. 歯科医療の向上のための事業

1) 診療ガイドラインの策定 (ガイドライン作成委員会 松香理事)

非歯原性歯痛の診療ガイドライン改訂に向け、改定案をHPに掲載し、パブリックコメントの募集を行った。

2) 医療保険に関する活動 (医療保険委員会 佐々木理事)

次期診療報酬改定に向け、医療技術評価提案書の作成に係る説明会に出席し、提案書の作成および提出を行った。

3) 医療問題関連の活動

種々の医療問題に関する見解の取りまとめと解決を行った。

4) 学術に関する活動 (学術委員会 村岡理事)

e-learning 検討部会 (担当委員長: 大久保昌和、担当副委員長: 坂本英治)

会員のための e-learning の開発を行うべく検討を行った。

臨床研究検討部会 (担当委員長: 坂本英治)

口腔顔面痛疾患の臨床統計や診断基準の検討を行うための臨床統計実施を検討した。

9. 広報事業 (広報委員会 井川理事)

1) ホームページおよびメーリングリスト、ニュースレターでの情報開示を行った。

2) 口腔顔面痛に関する国民への情報提供のため、指導医・専門医・認定医一覧ページの刷新 (都道府県別 MAP の作成) を行った。

3) 一般向け疾患解説ページの作成を行った。

10. 会議の開催 (佐久間常任理事)

1) 常任理事会

緊急案件、その他を審議するため、理事長、常任理事で構成される常任理事会を適時、開催した。

2) 理事会

理事、監事で構成され、相談役、事務局が陪席する以下の会議を実施した。

2017年度第2回定時理事会

議題: 2017年度決算承認ほか

会期: 2018年10月28日(日) 10:30-11:30 会場: 東京都内

臨時理事会

必要に応じて、適時、臨時理事会を開催した (インターネット開催を含む)

3) 臨時執行役員会議

雑誌発刊の遅れに関する一ツ橋印刷株式会社の対応について同社を交え協議した。

4) 評議員会 (社員総会)

臨時評議員会

議題：2017年度決算承認以外の議題

会期：2018年10月28日(日) 12:00-13:00 会場：東京都内

定時評議員会

議題：2017年度決算承認のみ

会期：2018年11月12日(月) 8:00- 会場：日本大学歯学部

5) 各委員会

役員改選 (選挙管理委員会 嶋田理事)

評議員選挙および理事選挙を実施した。評議員選挙は、候補者が定員に満たなかったため、44名全員を当選とした。理事選挙は、2019年8月25日(日)に一ツ橋印刷株式会社ビル内にて開票を行い、以下の7名を当選とした(敬称略)。

今村 佳樹、大久保 昌和、小見山 道、坂本 英治、佐久間 泰司、松香 芳三、村岡 渡

11. 本学会の社会的地位向上のための活動

1) 広告のできる専門医

広告のできる専門医の資格取得のため、会員の増加を図った。

2) 日本歯科医学会専門分科会

専門分科会申請に向け準備を行った。

12. その他

目的達成のために必要と認められる事業を行った。

以上